



おじいちゃん、おばあちゃんとふれ合おう♪ ～祖父母参観日を開催～

家庭教育学級の取組紹介 ～関市立富野保育園～

【開催の目的と内容】

幼児期は、心の根の大事な部分が形つくられる時期です。この時期に、子どもたちの「やりたい」を見守ってくれる大人の存在が大切であるということ、祖父母の皆さんにもお伝えしたいという願いから、この行事を3年ぶりに開催しました。

祖父母の方々が、子どもたちと一緒にゆったりとしたペースで好きな遊びが楽しめるように、日頃子どもたちが楽しんでいる遊びや工作、裸足で体感できる場など、様々なコーナーを設けました。

【当日の様子】

◇歌って踊ってスキンシップ



◇思い出写真を撮ってフレーム作り



◇ぴんぴんガエルを作って遊ぼう



◇けん玉を作って遊ぼう



◇はだして あるこう



ちくちくする杉の葉を踏んで歩くコーナー

青竹踏みコーナー

◇絵本の部屋



「次は何をしようか？」祖父母の方々も、子どもたちのペースに合わせて、急がずことなく、始終笑顔でゆったりと活動を見守ってみえました。

工作や遊びだけではなく、「絵本の部屋」で一緒に本を読んだり、「はだして歩こう」で、青竹や杉の葉の上を「痛くないよー」と言いながら元気に歩いたりしました。

【参加者の感想より】

- ・久しぶりに保育園に来ました。始めはドキドキしていましたが、いろいろなコーナーを孫と一緒に回って、とても楽しかったです。写真フレームを作って、写真を入れたものは、とてもいい思い出になりました。
- ・普段から子どもたちが、コマなど手先を使った遊びや、はだして園庭を走り回っていることがわかりました。また、その遊びが年齢ごとに工夫されている点がさすがだなと思いました。

【主催者の感想より】

子どもたちの「やりたい！」に祖父母の方が寄り添って遊んでみえました。その姿は、とても生き生きしていらっちゃって、楽しそうでした。

また、始めて会う祖父母の方々同士も、楽しそうに会話をされてみえました。

私たちも、子どもたちが自分の意思でやってみたいコーナーを選んで、うれしそうに遊ぶ姿を見ることができました。祖父母の方々のおかげです。祖父母参観日を開催して本当によかったと思いました。

【取材を終えて】

この日の富野保育園には、和やかでゆっくりとした時間が流れていました。祖父母の方々や園の先生方が、子どもたちがのびのびと活動する様子を、嬉しそうに見守っていらっしゃる姿が印象的でした。

「孫育て講演会」

今どきの子ども達 ～祖父母としてどう接したらいいの?～

家庭教育学級の取組紹介～美濃市立中有知小学校～

【講演会の背景と目的】



祖父母の方々が子育てした時代と、今は大きく変わっています。また、二世帯家族や共働きの家庭が増えるなか、祖父母が孫育てに関わる場面も増えているのではないのでしょうか。

このため、子育てをする両親をサポートする祖父母の皆さんに、乳幼児から小学校時代にかけての子どもたちの発達特性や実態を知っていただけるよう、中有知公民館と学校運営協議会が連携して、祖父母参観日に合わせて講演会を開催しました。

【講演会の概要】



- <開催日> 令和5年9月26日（火）
<講師> 中部学院短期大学部 幼児教育科
倉畑 萌 講師
<講演名> 「孫育て講座」
今どきの子どもたち
～祖父母としてどう接したらいいの～



- <講演内容>
子どもの発達段階や時代と共に変化した子育て観を紹介。
→ お互いに気遣う心、適度な距離感を大切に。

おばあちゃん家は、子どもにとってリラックスできる場所。
おばあちゃん家だから「言えること」「本音」もある。

「子どもは、ほめられると自分でもできた実感し、自信につながる」



「親よりも一歩引いたところから孫を見守り、たくさんほめてあげて」



自分で決める、自分で考えられる子になることが大切



岐阜県健康福祉部子育て支援課制作の冊子が、配られました。

【当日の様子】

◇全学級の授業参観

講演会に先立って授業参観が行われました。教室に入りきらないほど多くの祖父母の皆さんが参観されました。



◇孫育て講演会



「孫との接し方がわからない。」という地域の方の声をを受けて開催された講演会。

案内チラシは、学校だけではなく公民館からも配られ、乳幼児の祖父母の方や事前申し込み無しの方にも当日参加いただき、65名の方が熱心に聴き入って見えました。



「お孫さんと一緒にあやとりをして遊んであげて。」昔懐かしいあやとりに挑戦。皆さん、お上手でした。



講演を聴きながら、熱心にメモをとる方もみえ、多くの方から「大変参考になりました。」といった感想をいただきました。

【参加者の感想】

- ・孫への接し方に迷いがあったので、講演を聴いてホッとしました。孫となるべく一緒に遊び、成長を見守っていきたいと思いました。(女性)
- ・私も3人の孫がいるので、大変参考になりました。今、だんだん子どもが少なくなって高齢化が進んでいます。これからは地域で子育てに力を入れていく時代になって、少しでも親の負担が減っていくことを望みたいです。(男性)

【取材を終えて】

小学校としても公民館としても初めての試み。参観授業と講演会があったことで、大変多くの祖父母の皆さんが来校されました。

主催者の方は、「来年度は『子育てに、どう祖父母に関わってもらおうか』をテーマに、保護者対象の研修会を行えたらいいな。」とおっしゃって見えました。

今後も、保護者や祖父母の方が、協力しながら子育てや孫育てができるといいですね。



「家庭教育支援市町村連携会議」の開催報告

10月4日、中濃県事務所主催の「美濃地区家庭教育支援市町村連携会議」を開催しました。この会議は、各市の担当者が家庭教育支援について学び、それぞれの市の現状や課題の共有を目的に、開催しているものです。

今回は、各市家庭教育担当課や園の担当課以外にも、地域で子育て支援活動を行って見える関係者の方々にも参加いただき、実践交流を行いました。

今後も、多くの関係者の皆様と連携し、乳幼児期から園、小中学校までの切れ目のない支援を続けていきたいと思っております。



冬休みや新年の目標づくりに合わせて

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を

秋も深まり、親子がともに過ごす時間が増える冬休みも近づいています。家族の絆を深めるために、冬休みに「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を取り入れてみましょう。

① 約束を決めます

家族みんなが気持ちよく生活できる約束を話し合ってみましょう。

大きな約束を家族で1つ決め、それぞれ個人の約束を決めてもいいですね。



② 実践を記録します。

一言声をかけ合えるといいですね。

- 「がんばってるね。」「気持ちがいいね。」「よかったね。」「うれしいな。」「ありがとう。」



③ 親子でメッセージを交換します

約束に取り組んで、よかったこと、できるようになったことを見つけて、伝え合いましょ。

「話そう！語ろう！わが家の約束」実践カード

「家庭教育を実施する日」は 毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

わが家の約束宣言

月日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
曜日										
振り返り										

〇家族でメッセージを交換しましょう。

子どもから 家族へのメッセージ

家族から 子どもへのメッセージ

☆ 学校での出来事も、家族に話してみましょ。

【下のQRコードからダウンロード】



幼保低学年用



高学年・中学校用